

17日	面談 中国若手ジャーナリスト 東京出張(～18日)
18日	面談 台北駐日経済文化代表所那覇分所 所長 粘信士氏 安里副知事退任
	ジャイアンツキャンプ激励会
21日	面談 琉球舞踊 玉城流いずみ会 家元 又吉静枝氏ほか E dy×楽天イーグルス×みんなでグッジョブ運動 チャリティーイベント
	面談 民主党県連新代表 新垣安弘氏ほか
	面談 プロボクシング選手 亀田興毅・大毅氏
24日	要請 沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会 委員長 当銘勝雄氏ほか
25日	面談 駐日南アフリカ共和国大使館特命全権 大使 ガート・ヨハネス・グロブラー氏
27日	面談 プロ野球オープン戦 日本ハムおよび楽天監督

2日	ダイキンオーキッドレディスゴルフ トーナメント前夜祭
3日	ダイキンオーキッドレディスゴルフ トーナメントプロアマ戦
4日	面談 映画監督 張加具氏
6日	ダイキンオーキッドレディスゴルフ トーナメント表彰式
7日	沖縄平和賞への寄付金贈呈式 沖縄経済同友会代表幹事 大城 勇夫氏 沖縄県振興推進委員会
8日	面談 西日本高速道路株式会社 代表取締役会長兼社長 西村英俊氏 要請 コザ商店街連合会会長 親川剛氏ほか 面談 在沖米国総領事 レイモンド・F・グリーン氏
10日	春闘要求書受理 面談 駐日米国大使 ジョン・V・ルース氏 アミークスインターナショナル寄付金贈呈式 面談 プロレスラー タイガーマスク氏 要請 カジノ問題を考える県民会議 糸数慶子氏ほか 「美ら島沖縄総体2010」大会成功感謝会 大垣精工株式会社賃貸工場開所式 東日本大震災救護班出発式 沖縄タイムス社 東日本大震災義援金贈呈式 要請 日本会議沖縄県本部
15日	面談 喜屋武幸雄氏、喜納昌吉氏ほか ※EARTH AID 東日本大震災LIVEについて りゅうせきネットワーク会議 赤十字沖縄県支部への東日本大震災義援金贈呈 しんばネットワーク 東日本大震災義援金贈呈式 面談 南西航空混成団 平田英俊 空将 東日本大震災義援金募金箱設置式



県政 フラッシュ

3/6

ダイキンオーキッドレディス ゴルフトーナメント表彰式



優勝した朴仁妃選手に県知事賞を贈呈

知事も出席し、優勝した朴仁妃選手(韓国)に県知事賞として琉球ガラスの花
瓶を贈呈した。

南城市「琉球ゴルフ倶楽部」にて、第
24回ダイキンオーキッドレディスゴルフ
トーナメントが開催され
た。

今大会は残念ながら県勢の優勝とはな
らなかったが、国内女子ゴルフツアーの
開幕戦でもある同大会には多くのギャ
ラリーが訪れ、盛り上がりを見せていた。

最終日に行われた
表彰式には、仲井眞
知事も出席し、優勝した朴仁妃選手(韓国)に県知事賞として琉球ガラスの花
瓶を贈呈した。

2/18

安里副知事 拍手に送られ 退任



仲井眞知事らに見送られて県庁を後にする安里副知事

その後、安里副知事は職員らが作った花道を通して、4年間を過ごした県庁
を後にした。

平成19年2月からの4年
の任期を終え退任する安
里カツ子副知事は、2月18
日、県の幹部会議に出席して最後の公務を終えた。会
議後、仲井眞知事は花束を
贈り、副知事在任期間の労
をねぎらった。

見送りのために集まった
職員を前に、安里副知事は
「民間から県庁に入り戸惑
いもあったが、皆さまのお
かげで4年の任期を全うすることができた。元気な知事と一緒に、明るく楽し
く豊かな県づくりに励んで欲しい」とあいさつした。

3/10

日本部長発言を巡り ルース駐日米国大使が謝罪



県庁で行われたルース大使との会談の様子

昨年未だに米務省内
で米国の大学生らに対
して行われた講義にお
いて、米務省のケビン
・メア日本部長が沖縄
を侮辱する発言を行っ
たと報道されたことに
関し、ジョン・V・ルース
駐日米国大使は県庁を
訪ね、仲井眞知事に対し
「沖縄に深いご心痛を与
えた最近報道された発
言に対して、心からの謝
罪と遺憾の念をお伝えし
ます」と謝罪した。
またルース大使は「報道された発言内容は米国の見解を反映したものではない」、
「元駐日米国大使館首席公使のラスト・デミング氏が米務省の新しい日本部長
に任命された」と伝えた。
仲井眞知事からは「大使が沖縄を訪問し謝罪したことは多とするものであるが、
日米の信頼関係の修復には時間がかかる」と述べた。

3/4

表敬 日中合作映画 「天上の風」張加具監督



張加具監督や主演の福本幸子さんらとの会談の様子

県内の制作会社も参加して
製作される来春公開予定の
日中合作映画「天上の風」の
張加具監督や主演の福本幸
子さんらが県庁を訪れ、仲
井眞知事に那覇、北谷、読
谷、恩納など主要観光地
で撮影を行うことなどを
報告した。
会談の中で張監督は、同
映画が「沖縄に生まれ育
った若い女性が、幼い頃
に別れた母に会うため、
沖縄から北京、モン
ゴルへと、5000kmを旅
するロードムービー」とい
った内容になることを説
明した。
これに対し仲井眞知事は
「人口15億人の巨大市場
で沖縄の風景が紹介され
ることで、たくさんの中
国の方が沖縄に観光に
来ていただけると期待
している。私もぜひ見て
みたい」と期待感を示
した。

- 2 県政フラッシュ
- 4 特集1
4月から沖縄県庁の組織が変わります!
- 6 特集2
平成23年度当初予算のあらまし
- 8 特集3
春休み中の少年非行を防止しよう!!
- 10 比べてわかるみんなのシゴト白書
観光に携わるシゴト
- 12 県のうごき1
東北地方太平洋沖地震支援
- 13 県のうごき2
ナスミバエの防除にご協力をお願いします!
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながる広がる 人・モノ・文化 地域物語
名護まち活性化実行委員会

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

*

沖縄県広報雑誌「美ら島沖縄」は、県の施策や
情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝え
する冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など
多くの方が利用する施設でご覧になることが
できるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無
料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課
ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020
http://www.pref.okinawa.jp/churahome/

沖縄の人口 世帯の動き

平成23年2月1日現在



人口 139万6,628人 ※前月比503人増
世帯 53万7,497世帯 ※前月比520世帯増

4月から沖縄県庁の組織が変わります！

県政のさまざまな課題に取り組む体制を築くため、県庁の組織を改正しました。

平成23年度 沖縄県行政機構図

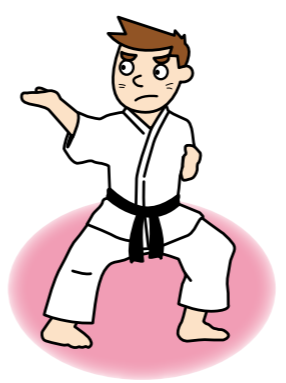
平成23年4月1日現在
赤：新設の部・課など



《組織改正の概要》

- ① 文化、観光およびスポーツに関する施策を総合的に実施するため、新たに「文化観光スポーツ部」を設置しました。
- ② 環境施策を重点的に推進するため、環境部門を「環境生活部」として改編しました
- ③ 雇用対策の強化のため雇用施策の担当課を2課体制にするとともに、部の名称を「商工労働部」としました。
- ④ 国民健康保険課の新設をはじめとして、福祉保健部の保健部門を再編しました。

区分	本庁		出先機関
	局	課	
知事公室		5	1
総務部		7	8
企画部		8	6
環境生活部		7	7
福祉保健部		9	15
農林水産部		13	16
商工労働部		8	3
文化観光スポーツ部		5	2
土木建築部		15	11
計		77	69
出納事務局	1	2	



お問い合わせ ● 県行政改革推進課 TEL:098-866-2155 FAX:098-866-2157

平成二十三年 当初予算のあらまし

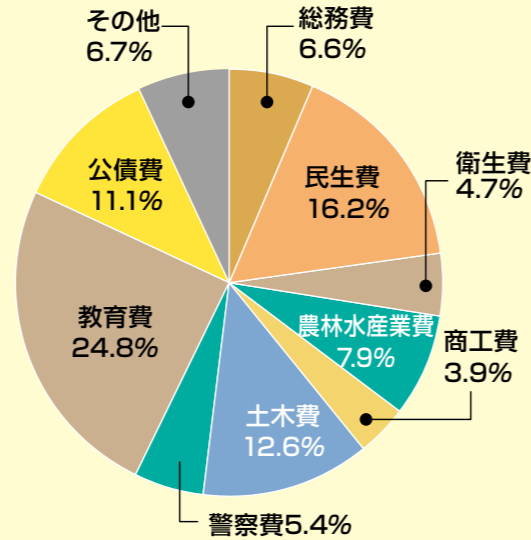
県民1人あたりに換算すると…

入ってくるお金(歳入)
435,500円

自主財源・・・128,800円
依存財源・・・306,700円

出ていくお金(歳出)
435,500円

総務費	28,800円
民生費	70,500円
衛生費	20,700円
農林水産業費	34,600円
商工費	17,100円
土木費	54,700円
警察費	23,700円
教育費	107,900円
公債費	48,500円
その他	29,000円



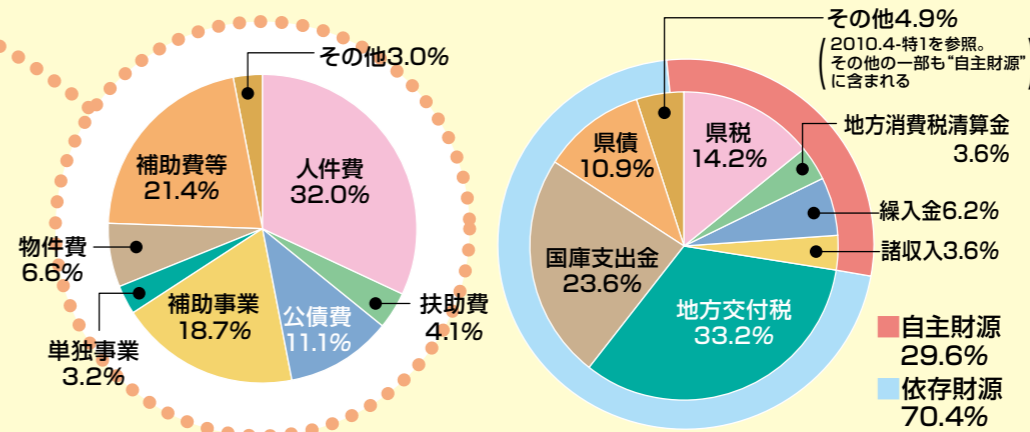
総務費	403億円
民生費	985億円
衛生費	289億円
農林水産業費	483億円
商工費	239億円
土木費	764億円
警察費	331億円
教育費	1,507億円
公債費	677億円
その他	405億円

歳出予算を別の視点で見ると…

※民生費とは、県民の生活や福祉のために使われる費用のことです。
※県民の人口は1,396,628人(平成23年2月1日現在)で換算しました。

一般会計当初予算額

6,082億円(対前年度比0.5%、27億円増)



歳出(県の支出)

義務的経費	人件費 1,944億円
	扶助費 247億円
	公債費 677億円
投資的経費	補助事業 1,138億円
	単独事業 193億円
その他の経費	物件費 401億円
	補助費等 1,300億円
	その他 183億円

歳入(県の収入)

県税	862億円
地方消費税清算金	217億円
繰入金	375億円
諸収入	217億円
地方交付税	2,022億円
国庫支出金	1,433億円
県債	660億円
その他	296億円

用語解説

- 【自主財源】**: 県が自主的に徴収または収納することができる財源のことで「県税」、「使用料及び手数料」、「諸収入」などのことです。
- 【依存財源】**: 国から定められた額を交付されたり、割り当てられたりした財源で「地方交付税」、「国庫支出金」、「県債」などのことです。
- 【県 税】**: 直接税として県民税、事業税、不動産取得税、自動車税などがあり、間接税として地方消費税、県たばこ税などがあります。
- 【地方交付税】**: すべての地方公共団体が一定水準の行政を維持するために必要な額を保障するもので、財源不足が生じる地方公共団体に国から交付されます。
- 【国庫支出金】**: 地方公共団体が行政を執行する上で必要な財源に充てるため、国から負担金、補助金、交付金などの名称で交付されるものです。
- 【県 債】**: 県が特定支出に充てるため、一会計年度を超えて借り入れる長期借入金のことです。また、償還に要する経費を公債費といいます。

十億円)が計上されないことなどにより公債費が減少しました(△三十億円)。

③地上デジタル放送受信者支援事業の終了などにより積立金は減となりました(△九億円)。

行財政改革への取り組み

①補助金などの見直し(△十二億円)
②百三十四件の県単補助金を見直し、廃止や縮小を実施しました。

収支不足への対応

歳入面で県税や地方譲与税、地方交付税などが増加しましたが、歳出面で社会保障関係費や単独事業、物件費などが増加し、予算編成過程において八十億円の収支不足が生じました。

このため、主要四基金からの取り崩しなどにより、収支不足に対応しています。

※主要四基金とは、財政調整基金、減債基金、県有施設整備基金、職員退職手当基金のことをいいます。

予算編成の方針

今年度は、沖縄振興計画の最終年度であり、総仕上げの年となることから、これまでの成果を踏まえ、沖縄の将来像を展望しつつ、残された課題への対応と更なる発展に向けた取り組みを、力強く推進していく必要があります。

特に、産業振興、雇用創出、福祉医療の拡充および離島振興などの推進は、県の重要課題として全力を挙げて取り組んでいく必要があります。

そのため、現下の厳しい財政状況も踏まえ、「新沖縄県行財政改革プラン」の着実な推進に努めるとともに、これまでに以上に各分野において主体的な事業の取捨選択が徹底されることを前提に、限られた財源を緊急かつ重要な施策に重点的・効果的に配分することを基本として、予算を編成しました。

増減のポイント

- 【増加】**
 - 不発弾等処理事業費や沖縄国際航空物流ハブ活用推進事業などの物件費が増加しました(三十七億円)。
 - 水産海洋研究センター移転整備事業や安心ことも基金事業などの単独事業が増加しました(三十五億円)。
 - ワクチン接種緊急促進事業や国民健康保険負担金(補助金)等事業費などの補助費などが増加しました(二十億円)。
 - 障害者自立支援医療事業費や生活保護介護費などの扶助費が増加しました(十億円)。
- 【減少】**
 - 港湾改修費や地上デジタル放送推進事業費などの補助事業が減少しました(△三十七億円)。
 - 公債管理特別会計の設置に伴い一般会計に借換分(六

今年度の一般会計の当初予算額は、六千八百十二億円。
前年度と比べて二十七億円、〇・五パーセントの増加となり、三年連続の増額編成となりました。

お問い合わせ ● 県財政課 TEL:098-866-2095 FAX:098-866-2658

春休み中の少年非行を防止しよう!!

子どもたち・保護者・地域の皆さんへ

四月は、入学、進学、就職など、周囲の環境が大きく変わる季節です。心配、不安やとまどいなど気持ちが揺れ動く時期でもあり、友人などからの「深夜はいかい」や「飲酒」、「喫煙」の誘いを断ることができず、いわゆる不良行為に走る心が心配されます。

県民全体で少年非行を防止しましょう!



県内少年非行の現状

昨年、県内において刑法犯少年により検挙、補導された少年(刑法犯少年)は、千五百十人で前年と比較して約六・二パーセント減少しており、平成十七年の二千三百十三人をピークに**五年連続減少**しています(図1)。

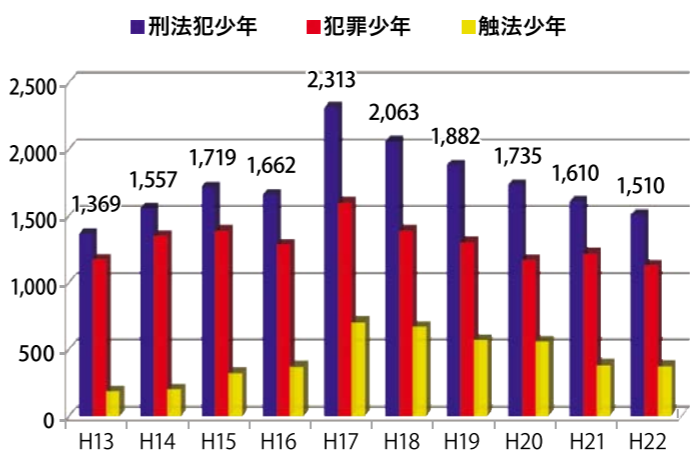
刑法犯少年全体に占める中学生の割合が五十六・四パーセントと全国一高く、小学生の割合も六・三パーセントと全国平均を上回るなど、少年非行の「**低年齢化**」が見られるところ(図2)。

また刑法犯少年のうち非行歴のある少年が全体の四十一・六パーセント、複数で犯行を行った少年が全体の五十六・三パーセントと共に全国平均を大きく上回り全国一位と「**高い再犯率・共犯率**」が特徴としてあげられます。

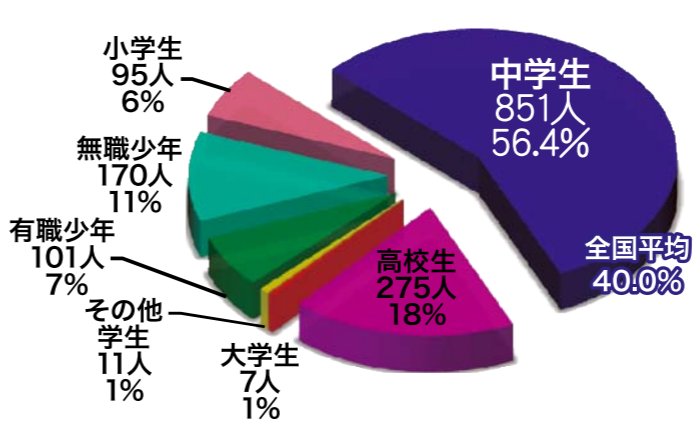
一方、飲酒、喫煙、深夜はいかいなど少年非行の入口である不良行為で補導された少年は四万二千二百七十七人で、過去最も多か

(図1) 刑法犯少年の推移(過去10年)

※刑法犯少年=刑法犯で警察に検挙・補導された犯罪少年および触法少年



(図2) 刑法犯少年の学職別割合



県警察の取り組みについて

現在、警察では学校や地域の皆さんと連携して、問題を抱える少年が在籍する中学校エリアに対して、農業体験、エイサー、学習支援などの立ち直り支援活動や通学時などにおける声かけ、あいさつ運動による地域社会との「絆」を強化するなど、重点的かつ集中的に実施する「**スクールエリア対策**」を推進しています。

また本年からは、非行歴のある少年に対して積極的に支援する立ち直り支援活動や、非行防止教室を小学校まで拡大し、予防教育の充実を図るなど、学校・地域など一体となった「**非行少年を生まない社会づくり**」を推進することとしています。

★警察から皆さんへお願いしたいこと

子どもたちへ

新学期を迎えて新しい環境にとまどいを感じている人も多いと思います。学校などで友達とうまくつきあえずに孤立し、仲間はずれにされていると感じている人もいるかもしれません。

まずは友達だけではなく家族にも自分の思っていることを百パーセント打ち明けて、自分を表現してコミュニケーションを図ってみてください。

また規則正しい生活リズムが少年非行を防止するだけではなく、健康にもつながります。外出しても寄り道せず、まっすぐお家に帰って、夜更かしせずに「早寝」「早起き」を心がけましょう。

「ちょっとだからいいか」が非行につながります。仲の良い友達でも「悪いことは悪い」と誘われても断る勇気を持ちましょう!!

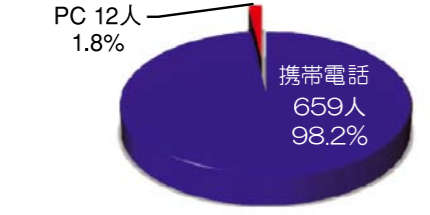
保護者の方へ

子どもの人格形成や人間関係の構築において、家庭が最も重要な役割を果たすと考えられます。しかし、最近では親と子どもの触れ合いが少なくなるなど親子関係が希薄になり、自分の子どもが飲酒したりタバコを吸ったりしていることを知らなかったり、黙認している親も見られます。

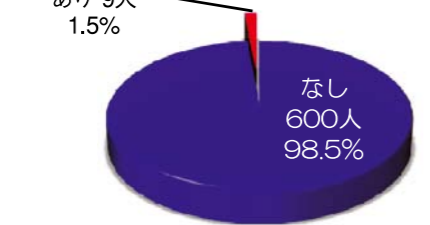
まずは親子のふれあいの機会をできるだけ持ち、親がしっかりとしつけを行うようにし、家庭が子どもにとって安心できる

フィルタリング関連データ～平成22年10月警察庁発表資料～平成22年上半期に検挙した非出会い系サイトに起因する児童被害の福祉犯罪の調査結果より

被害児童のサイトへのアクセス手段



被害児童のフィルタリング加入状況



地域住民のみなさんへ

最近では地域社会が他人の子どもにも無関心であるといわれています。かつては地域の大人たちが悪いことをした近所の子どもたちを注意するなど、地域

全体で子どもの規範意識を身につけさせていました。

一方、沖縄県は大人自身が「夜型社会」傾向があり、その影響か子どもたちも深夜に補導される少年が多いなど、大人たちの悪影響を受けた子どもたちも「夜更かし社会」化しています。

周りの大人が「シンデレラタイム」を守り、規則正しい生活を過ごし、子どもにも規範を示すとともに、悪いことをした子どもたちに「悪いことは悪い」と注意するようにしましょう。

また外で知っている子どもを見かけたら、一声かけるなど周りの子どもに関心をもち、地域全体で子どもを見守るようにしましょう。

**悩み、困っていることはありませんか？
あなたの持っている不安を一緒に考えましょう。**

気軽に相談、ヤング・テレフォンコーナー(電話相談)
☎ 0120-276-556
☎ 098-862-0111
平日 09:30～18:15
時間外は留守番電話で対応します。



お問い合わせ ● 県警察本部少年課 TEL:098-862-0110 FAX:098-868-8571

働きたいアナタを応援します!

23年度みんなでグッジョブ運動 スローガン大募集!

みんなでグッジョブ運動では、平成23年度運動スローガンを県民の皆さまから広く募集いたします。優秀作品応募者には7月のみんなでグッジョブ運動推進大会にて表彰状および記念品を贈呈します。県民一人ひとりが参加する県民運動にふさわしいキャッチコピーをお待ちしています。詳しくは「みんなでグッジョブ」ホームページまで。

<22年度運動スローガン>

グッジョブで 見つけるあなたの 明るい未来
◆募集期間 4月1日(金)~5月31日(火)
◇問合せ先 県雇用政策課雇用創出戦略スタッフ ☎098-866-2324

みんなでグッジョブ 検索

「就職・生活支援パーソナル・サポート・センター」について

県では、長期失業などによりさまざまな生活上の困難に直面する方を支援するため、「就職・生活支援パーソナル・サポート・センター」を設置しています。同センターでは、生活から就職まで幅広くサポートしていますので、お気軽にご相談ください。

- ◆相談無料
- ◆開所日 毎週月曜日~金曜日
- ◆時間 午前9時15分~正午 午後1時~4時
- ◆場所 那覇市泉崎2-3-8(1F)
- ◇問い合わせ先 (財)沖縄県労働者福祉基金協会 ☎098-851-8037

平成23年度技術講習のご案内

県労政・女性就業センターでは、仕事に就くために必要な資格を取得するための技術講習を行っています。

- ◆対象 就職を希望する女性で、講習の全日程に出席できる方(但し、現在仕事についている方、学生、新卒、妊婦の方は対象外)
- ◆講習内容 経理事務、医療事務(医科・歯科)、調剤事務、ワード・エクセル2級、ワード・エクセル3級
- ◆受講料 無料(但し、教材費・検定料などは自己負担)
- ※講習期間、応募資格などはお問い合わせください。
- ◇問い合わせ先 県労政・女性就業センター(那覇) ☎098-863-1788 県労政・女性就業センター(沖縄相談所) ☎098-934-6607

一日のタイムスケジュール

8:30 施設内の清掃 (担当の場合)
8:50 朝礼 (予約状況の確認など)
10:00~ ツアー開始 (1回80分のツアーを1日2回程度担当)
ツアーの間にカフェのサポートも対応 (途中、食事休憩などあり)
18:10 ミーティング後、退社

谷内の植物や人類の歴史についてわかりやすく説明するなど、多様なニーズに対応。お客さまが感動する姿がやりがいです。このほか、看板づくりや施設の手入れ、カフェやライブの対応、苦手なパソコンでのブログ更新など仕事の幅が広がりました。県外のお客さまにとって、私たちは沖縄県代表。観光のプロとして、満足していただけるよう心がけています。

仕事のツボ アドバイス

この仕事は資格や学歴ではなく、情熱や人が好きなことが大切。私は職場の上司の情熱に感動して、就職を決めました。興味を持った職場は、実際に見学して働く人に会ってみることがおすすめ。等身大の自分をぶつけることも大事です!



一日のタイムスケジュール

※夜に宴会の予約がある場合の例
9:20 出勤
9:30~ 事業部朝礼
メールチェック、宴席の流れを確認
そのほか、同時進行中の案件の段取り
12:00~13:00 食事・休憩
13:00~ 担当している宴会の手配や問い合わせ、サービス料数との打ち合わせ、宴会の資料作成
17:00~ 当日の流れ、宴会場の準備状況のチェック
18:00~ 宴会スタート
18:30 現場を確認して退社

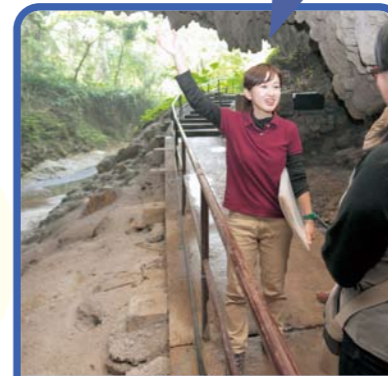
伝えたり、司会者や会場装花、横断幕、アトラクションなどの手配も行います。宴会は最小十五人から最大千二百人まで、ゲスト数も規模もさまざま。作業のチェックリストは必ず数人で確認し、見落としを防ぎます。また、勉強のために宴会に立ち会うこともあります。お客さまには、また必ず来ていただきたいという想いで、常に笑顔で心がけて接するよう心がけています。

仕事のツボ アドバイス

特別な資格は必要ありませんが、電話対応やパソコン操作などのビジネススキルは必須。宴会手配業務には細かい性格が向いています。県外からのお客さまには沖縄のことをいろいろ聞かれることも多いので、歴史や文化も含めて沖縄を幅広く学ぶと良いかと思います。



観光ツアーガイド



ガンガラーの谷 ツアーガイド 漢那 千尋さん(勤続2年・28歳)

好 きな接客が生かせる
観光の仕事との出会い

高校卒業後、神奈川の大学へ進学。卒業後は大手ファストフード会社に就職し、一年半の勤務後、帰沖。接客業が好きで飲食関係の仕事を探していましたが、地元で貢献したい思いもありました。そんな中、県外の友人が沖縄に遊びに来た時、観光案内

をしたらとても喜んでくれたんです。ハローワークで見つけた現在の仕事は、接客にも観光にも携われて沖縄に貢献もできると思いました。

観光現場のプロとしての意識を持って

ガンガラーの谷は、非日常を提供する特殊な空間です。想像をかきたてる案内を心がけ、お客さまに合わせて

ホテルスタッフ



リザンシーパークホテル谷茶ベイ MICE事業部 山城 里佳さん(勤続6年・26歳)

研 修とバイトで感じた
職場との相性

高校時代からずっとファストフード店でアルバイトをしていて、人と接する楽しさを知りました。サービス業の中でも幅広い業務や職種のあるホテルで働きたいと専門学校へ進学。二年生のときに現在の職場で研修し、その後は宴会スタッフのアルバイト

イトとして働くことになりました。職場の雰囲気もスタッフも楽しくて、「ずっとここで働きたい」と社員の採用に応募しました。

小ささまざまな宴会を滞りなく準備

現在は、宴会の手配業務を担当。営業担当から届いた予約状況や連絡事項をサービスと料金の部署に

みんなのグッジョブ白書

観光に携わるシゴト

観光ツアーガイドとホテルスタッフ

「人と接するのが好き」という想いは共通の二人。沖縄を代表する観光地やリゾートをおもてなしの心で支えています。

その他の「観光に携わるシゴト」

- ・旅行代理店
- ・バスガイド
- ・レンタカー会社 など

仕事や職場を決めた理由、やりがいやターニングポイントなど、同じジャンルで職種が違う二人の先輩が仕事の本音を語ります。みんな迷って悩んで今がある! 就活世代に役立つヒントがいっぱいです。

東北地方太平洋沖地震支援

沖縄県では、東北地方太平洋沖地震に対し、以下の支援を行います。

1. 義援金の募集

振り込み口座は以下のとおりです。

(口座名義)

東北地方太平洋沖地震義援金 文化環境部長(*) 下地 寛
※4月1日以降は、部局再編のため環境生活部長になります。

(口座番号)

沖縄銀行	県庁出張所(普)	No.1283113
琉球銀行	県庁出張所(普)	No.178198
沖縄海邦銀行	県庁内出張所(普)	No.0076838
沖縄県労働金庫	県庁支店(普)	No.3245801
コザ信用金庫	那覇支店(普)	No.2020285
沖縄県農業協同組合	本店(普)	No.0015234

窓口での振込手数料は免除されています。

※県では、領収書の発行は行っていません。

2. 「被災地支援センター(仮称)」の立ち上げ

「被災地支援センター(仮称)」を立ち上げ、市町村と連携して支援物資の受入を行います。県民の皆さまからの支援物資は、お住まいの市町村に持ち込んでいただきます。

市町村は持ち込まれた支援物資を仕分けして、県の被災地支援センター(仮称)に持ち込みます。県では現地からの要請があり次第、自衛隊に被災地への輸送を依頼します。

市町村での受付方法は、お住まいの市町村にお問い合わせください。なお、受入可能な支援物資の種類には制限があります。詳細については、県のホームページでご確認ください。

3. 職員の派遣

保健・医療関係職員や運転士を現地に派遣しました。現地からの要請があり次第、被災地の外国人支援要員、土木関係技師など、職員を派遣する用意があります。

4. 給水車などの提供

県企業局、市町村の給水車、作業車などを現地に輸送しました。

5. 被災者の受入

県営住宅、青少年教育施設などへの被災者の受入を準備しています。

6. 食料などの提供

要請に応じて、食料・水を提供できるように準備しています。

平成23年3月17日現在



ナスミバエ成虫



幼虫 トマト



ナス



鳥とうがらし



ピーマン

被害果実の写真

ナスミバエの防除にご協力をお願いします!
平成二十二年十二月に沖縄本島で初めて「ナスミバエ」という害虫が確認されました。「ナスミバエ」は主にナス科(トウガラシ・ナス・ピーマン・トマトなど)の果実を食害し、防除が難しい害虫です。

被害状況

緊急調査を行ったところ、沖縄本島の十八市町村で発生が確認されています。宮古地区、八重山地区を含む離島地域では、現在まで発生が確認されていません。与那国島では以前発生していましたが、防除対策を実施し、国の駆除確認調査を行う予定です。

被害果実は写真(上図参照)のように、ナスミバエの幼虫(ウジ虫)が果実内を食い荒らします。もし、被害にあった果実が出荷された場合、沖縄県産の農産物に対する大きなイメージダウンとなります。

防除対策

ナス科野菜を栽培する場合は次の対策をお願いします。

施設栽培における対策

①施設内へのナスミバエの侵入を防ぐために防虫ネットを設置し、ネットやビニールの破れをふさぎ、出入口はネットによる二重カーテンを設置する。



ファスナー付二重カーテン



二重カーテン

【生産農家】
被害防止対策を確実に行ってください。疑わしい果実の出荷は控え、すぐに関係機関へ連絡をお願いします。
【取り扱い業者】
被害果実と思われる場合は、確実に処分してください。

皆さまへのお願い

①発生している地域からのナス科植物の果のついた苗などは持ち込まない。
②ナス科野菜を仕入れる際、開封時や小分け時に異常な果実がないか確認する。

ナスミバエ未発生地域の対策

①発生している地域からのナス科植物の果のついた苗などは持ち込まない。
②畑周辺のナス科雑草は、除去する。
③栽培終了後は速やかに片付けを行い、果実が畑に残らないようにする。



テリミノイヌホオズキ

露地栽培における対策

①防虫ネットなどで覆うか、果実に袋かけなどを行い、栽培する。
②未収穫果実は畑周辺に放置せず、ビニール袋などに入れ密封し、廃棄する。
③施設周辺のナス科雑草(イヌホオズキなど)を除去する。

【地域住民のみならず】
家庭菜園などの栽培についても防除対策を実施してください。被害果実を発見した場合には、ビニールなどで密封し廃棄してください。



果実を新聞紙などで覆い、出荷・搬送する

集出荷時や運搬時には果実を覆うような対策をお願いします。発生が疑われるナス科野菜などは未発生地域に持ち込まないよう、果実の確認をお願いします。

【地域住民のみならず】
疑わしい果実がある場合は、果実をビニール袋で密封し、最寄りの県病害虫防除技術センター、農業改良普及課、農業改良普及センターまでご連絡をお願いします。

県病害虫防除技術センター
☎098-886-3880
県北部農林水産振興センター
農業改良普及課
☎098-052-2752
県中部農業改良普及センター
☎098-894-6522
県南部農業改良普及センター
☎098-889-3515

情報ひろば

イベント

泡盛マイスター日本王座決定戦

日時 4月24日(日)午後2時半
場所 パシフィックホテル沖繩
内容 全国の泡盛マイスターが最高の知識と技術を競い合います。
備考 入場無料
問合せ (社)泡盛マイスター協会
☎098-8611-5403

試験

平成23年度前期技能検定

実施職種 30職種(造園、防水施工、写真、産業洗浄など)
受付期間 4月11日(月)～20日(水)
実施期間 6月6日(月)～9月11日(日)
問合せ 沖縄県職業能力開発協会
☎098-8621-4278
県労政能力開発課
☎098-8661-2366

募集

平成23年度奨学生募集

対象者 3級取得者もしくは同等の実力のある就職を希望する女性
期間 5月9日～6月21日(月)～5月9日(月)午後3時
場所 労政・女性就業センター(那覇)
申込み 4月18日・19日(来所申込み)
選考 4月26日(火)筆記試験・面接
定員 20人
受講料 無料(教材費等は自己負担あり)

4月 APRIL

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月 MAY

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

問合せ 県労政・女性就業センター
☎098-8663-11788

技術講習(経理事務)

対象者 パソコン操作が可能な概ね40歳までの就職を希望する女性
期間 5月13日～6月7日(月)～5月13日(月)午後3時
場所 ちゃたんニライセンター
申込み 4月21日・22日(来所申込み)
選考 4月28日(木)筆記試験・面接
定員 20名
受講料 無料(教材費等は自己負担あり)
問合せ 県労政・女性就業センター
☎098-8663-11788

障害児者全身麻酔歯科治療

対象者 一般歯科治療が困難な心身障害児者(障害の程度は問いません)
実施期間 6月8日(水)～7月6日(水)
実施場所 県立北部病院
募集締切 4月28日(木)
備考 希望対象者は、5月上旬に予備検診を予定しています。
問合せ 県障害保健福祉課
☎098-8666-21990
沖縄県歯科医師会立口口腔衛生センター
☎098-8791-8350

平成23年度就農サポート講座

応募資格 就農を予定している他産業従事者やUターン青年など
実施場所 県立農業大学校など
受講料 無料(保険料等自己負担あり)
【第一期】
実施期間 5月下旬～8月下旬
募集期間 4月1日(金)～28日(木)
【第二期】
実施期間 8月上旬～11月上旬
募集期間 6月10日(金)～7月8日(金)
問合せ 県営農業支援課
☎098-8661-2280

お知らせ

パスポートの窓口が変わります

4月1日から旅券事務の権限移譲によりパスポートの申請と受け取りが次の8市町村にお住まいの方は、県旅券センターから市町村窓口になります。
権限移譲市町村 うるま市、国頭村、大宜味村、東村、本部町、金武町、北谷町、石垣市
問合せ 県旅券センター
☎098-8661-2775



ミュージアムグッズ発表会

県平和祈念資料館では、ピースメモリアルグッズ開発事業を進めています。今年度開発したミュージアムグッズを紹介するピースメモリアルグッズ成果発表会を開催します。

各施設行事予定表

県立博物館・美術館

☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

☎098-941-8200

◆バックヤードツアー

開催日:4月9日(土)

美術館:午前11時～正午

博物館:午後2時～3時

定員:先着各12人(受付午前9時～)

参加費:無料

博物館

◆大嶺薫コレクション展

期間:3月15日(火)～4月10日(日)

※博物館常設展の当日入場券が必要です。

美術館

◆企画展「國吉清尚」展

期間:4月19日(火)～5月22日(日)

入場料:一般800円、高校生・大学生500円、小・中学生300円

◆美術館コレクション展

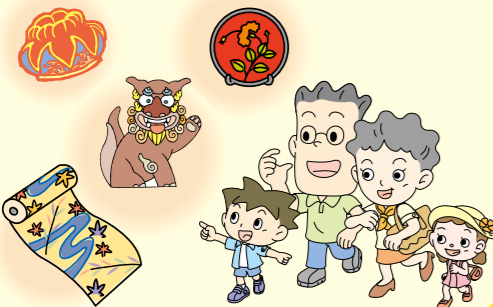
(ギャラリー1)メコン4525kmの光彩-菅洋志写真展

(ギャラリー2)大和コレクション展Ⅱ

(ギャラリー3)沖縄の色彩-沖縄美術の流れvol.3

期間:5月8日(日)まで

入場料:一般300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円



スカイクラブ

期間 3月14日(月)～5月14日(土)
備考 入場無料
問合せ 県平和祈念資料館
☎098-9971-3844

交通事故北部地区巡回相談

日時 毎月第2水曜日
午前10時～午後3時

備考 参加費無料
問合せ 県立総合精神保健福祉センター
☎098-8881-1443

FC琉球シーズンパス

FC琉球の2011年ホームゲームシーズンパスを発売しています。詳細はFC琉球HPでご確認ください。

価格
大人5,000円
中学生・高校生2,500円

公式HP
<http://www.fcryukyu.com/>



問合せ FC琉球事務局
☎098-9987-11619

県広報課からのお知らせ



4月 放送予定

9日・10日 ワーク・ライフ・バランスについて

16日・17日 「黒糖の日」について

23日・24日 民生委員・児童委員について

テレビ放送時間 RBC 6:15 QAB 25:55 OTV 6:45

詳しくは沖縄県ホームページへ <http://www.pref.okinawa.jp/> トップページ▶広報・広聴について▶広報誌、テレビ番組等

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日

ラジオ 沖縄 (864kHz) 11:50～11:55

RBCラジオ (738kHz) 11:55～12:00

F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

ご意見・ご提言 県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。
あて先 県民ご意見箱、知事へのたより
※記入様式などは、ホームページをご覧ください。



「高病原性鳥インフルエンザ」侵入防止についてのご理解とお願い

国内で、高病原性鳥インフルエンザが続発しています。県内に高病原性鳥インフルエンザを侵入させないため、県民の皆さまのご理解・ご協力をお願いします。



家さん飼養者の皆さまへのお願い

次の侵入防止対策をお願いします。

- ①家さんの健康観察、早期通報の徹底
- ②消毒の徹底
- ③防鳥ネットの設置
- ④部外者の立入制限など

県民の皆さまへのお願い

- ①家さん飼養施設への立入制限
- ②風評被害の防止
- ③死亡野鳥に関する通報
 - 県自然保護課 ☎098-866-2243
 - 環境省那覇自然環境事務所 ☎098-858-5824
 - 市町村役場

関係機関の連絡先

- 中央家畜保健衛生所 ☎098-945-2297
北部家畜保健衛生所 ☎0980-52-2939
宮古家畜保健衛生所 ☎0980-72-3321
八重山家畜保健衛生所 ☎0980-82-2041
県畜産課 ☎098-866-2269



地元のために地元が立ち上がろう!

継続できる取り組みで
名護を活性化しよう!

若い世代と力を合わせて
まちを元気に!

名護のためにできることを
サポートしたい



左から、末吉司さん、安次富長徳さん、宮城良勝さん



リニューアル前の市営市場



建物はきれいになっても、人情あふれる
雰囲気はそのまま



昨年12月18日に行われた
プレオープンイベント



4月にグランドオープン!



人・モノ・文化 地域物語

つながる広がる

名護まち活性化実行委員会

「地元のために地元が立ち上がろう!」
市場と通り会の連携で名護市街地を活性化

新名所誕生をきっかけに 名護のまち全体を活性化

昨年十二月、名護十字路に新しい市営市場が誕生しました。今年四月のグランドオープンを控え、すでに鮮魚店や精肉店、八百屋など十七店舗が入居し、営業を始めています。

名護の新しい顔となる市場を中心に、周辺商店街の南平和通り会・北平和通り会・名護大通り会・大西通り会が一体となり、「名護まち活性化実行委員会」を発足。商店街全体を活性化しようという取り組みが始まっています。昨年十二月のプレオープンイベントでは、名護桜太鼓のアトラクションをはじめ、豚汁の無料配布やまぐろ解体ショー、やんばるの食材を楽しむプロの料理人による試食会など、賑やかな催しを開催。また、毎月十八日を「いちばの日」と定め、今後は継続的に特売やイベントなどを実施して定着させる予定です。

市場と各通り会が 地域のためにがっちり連携

実行委員長の末吉司さんはNPO法人北部地域ITまちづくり協働機構(HICO)の理事長。子どもたちの教育環境を含め、地元をより良く

気がありますが、若い人もぜひ来て欲しい」とPR。リーダーとして各テナントに積極的に声をかけ、「市場を盛り上げていきたい」と意欲的です。

名護が元気になる 「持続可能な取り組み」をめざして

三月には、名校大の学生による名護各地区の村踊りイベント「第一回あけみおフェスタ二〇二一」を市場中庭で開催。「新市場のグランドオープンの宣伝になった」とメンバーも喜びます。

今後は商工会や地域の団体などとの連携も考えており、名護市観光協会地域観光サポーター事業コーディネートターの宮城良勝さんも、「市場と通り会の活動を側面から支援していきたい。まずは広報や宣伝などをお手伝いできれば」と話します。

委員会では月に一度定例会を行い、市場や商店街全体にどうしたら人を呼び込めるかなどを話し合っています。「行政などに頼るのではなく、地元のために地元が立ち上がる意識が大切。あせらずに腰を据えて取り組みたい」という末吉さんの言葉が心に強く残りました。

お問い合わせ

NPO法人HICO
電話:0980-535311

おもしろい場所にしたと約十五年前からまちづくりに関わっています。実はこれまで、名護の各通り会が連携して何かに取り組むことは少なく、新しい市場の誕生が地域の結束を促すきっかけになりました。

「新市場はひとつのきっかけ。市場や周辺商店街の経営者は、お客さまが大型店舗へ流れたり、若い世代が中心街から離れていくことに危機感を感じていたはず。市場と商店街が互いに相乗効果を考え、名護らしい魅力や良さを自覚して差別化を図らなければ」と真剣な表情で話します。

市場の良さや魅力を PRして集客を促したい

委員会メンバーで市営市場テナント会代表の安次富長徳さんは、旧市営市場時代から約三十五年間、精肉店を経営。「市営市場の歴史は五十年以上。最盛期は四十八店舗あり、地域の中心として活気があった」と語ります。新市場については、「地域の皆さんの反応は上々。売る方も気持ちがいい」と喜びます。

「末吉さんら若い世代のおかげで、新市場を内外にアピールできた。今後もいっしょに市街地活性化に取り組んでいきたい」と話します。「売り子との相対売りとしーブン(おまけ)が市場の魅力。年配層には根強い人

編集後記

広報誌担当となってからあつという間に2年が経ちました。初めての編集作業の中、アンケートや電話での読者からの声が大変励みになりました。次号から「美ら島沖縄」は内容一新、新体制に代わります。今後とも「美ら島沖縄」のご愛読よろしく申し上げます。(momo)

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震および津波で被災された皆さまには心からお見舞いを申し上げます。亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。県では、被災者支援のための義援金を受け付けています。県民の皆さまのご協力をお願いします(本誌12頁参照)。(たあちまちゅ)

沖縄県広報誌
平成23年4月1日発行第35巻4号通巻427号

美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

パソコンはこちら

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

